

防災 減災 知恵袋

Vol.39 「後発地震情報」について

令和4年12月から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用がスタートします。「後発地震注意情報」は、日本海溝・千島海溝沿いでM（マグニチュード）7.0以上の地震が発生したときに、続けて発生するおそれのある巨大地震に備えるための注意情報です。

東日本大震災では、3月9日にM7.3の地震（先発地震）が発生したあと、3月11日にM9.0の地震（後発地震）が発生しました。後発地震が必ず発生するとは限りませんが、地震に備えて、すぐに避難できるよう準備をしたり、日頃からの備えを再確認しましょう。

～後発地震情報が発信されたときの備え～

- 寝るときは服を着て靴を枕元に置き、すぐ逃げ出せるようにする。
- 非常持ち出し品を常時携帯する。
- ラジオやスマートフォンなどから緊急情報を取得できるようにする。
- 「崩れやすいブロック塀に近づかない」など、身の安全を確保する。
- 家具の転倒防止の備えや備蓄食料の賞味期限の確認など、日頃からの備えを再確認する。



過去の防災・減災知恵袋も市HPで確認できます。

問 防災安全課 内線 2135

